

海老名災害ボランティアネットワークだより



2022年（令和4年）12月1日発行 第40号

発行 海老名災害ボランティアネットワーク（略称：海老名災ボラ）

事務局 海老名市めぐみ町6-3、福祉会館・海老名市社会福祉協議会気付

ホームページアドレス <http://www.ebina-saibora.net/>

中新田小学校で、災害図上訓練 DIG（風水害対策）…を実施

2022年10月21日（金）、中新田小学校の5年生児童69名を対象にした「災害図上訓練 DIG（風水害対策）」を、児童と先生方の協力を得て、海老名災ボラが実施しました。

●10グループに分かれて、グループごとに同小学校区の白地図を囲んで座り、作業を開始



児童は事前に配られた「説明資料」と、海老名市のハザードマップ「相模川洪水浸水想定区域土砂災害警戒区域」を持って体育館に入ってきました。児童は10グループに分かれて、同小学校区の白地図を囲むように座った。災ボラ講師たちは、市内の相模川に近い地域では洪水・浸水の危険があること、2019年10月の台風19号で城山ダムの緊急放水で約3千人の市民が避難したことを話し、「全員で話し合い・協力してグループ作業を進めよう！」と呼びかけました。

●児童は基本地図と災害地図を作成



中新田小学校区の白地図に、河川・水路、鉄道、公共施設、商業施設、畑などを色分けして記入しました。災害地図は、海老名市ハザードマップ（「相模川洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域」）を見ながら、相模川が洪水となった時の想定「浸水の深さ」を地図の上に斜線で記入しました。中新田小学校区では、「浸水深3.0～5.0m未満の地域」（5mでは戸建て住宅で2階の軒下まで浸水）、「浸水深0.5m～3m未満の地域」（床下浸水）が大部分を占めています。

●災ボラ講師たちは、本日の訓練を家庭で話し合い、風水害対策を進めてほしいと呼びかけ、訓練を終わりました。

被災時を想定した”パッキング”出前講座を開催

2022年11月19日、定休日の喫茶店をお借りして、地域の方の依頼で出前講座を開催しました。パッキングのメニューは、ご飯、親子丼の具、蒸しパンの三品でした。皆さんにお手伝いいただきながら袋にセットし、湯せん。しばし待つ間に、避難する時の持ち物・心構え、回転備蓄など伝え、時間を過ごし、出来上がりを待ちました。その後試食をしながら、質問・感想など話し合いました。参加は5名でしたが、じっくりと話しを聞くことができ、イメージできました。帰宅したら備蓄食料などの確認をしたい。友達にも教えたいなどの声もあり、充実した会となりました。



地震・豪雨災害に備えて……えびな市民まつりで、防災対策をPR!

2022年11月19日～20日、えびな市民まつりに海老名災ボラから出展し、家具の転倒防止対策や災害



時でのトイレ活用方法、アンケート調査による風水害対策の検討などで、防災対策をPRしました。地震の時に家具が転倒して怪我をしないように、家具の固定方法の説明や、上下水道が止まった時に水を流さずに水洗トイレを利用

【模型を利用した家具転倒防止対策】 【アンケート調査を使った風水害対策】 する方法など説明しました。風水害対策として、海老名市の「風水害のハザードマップ」を見ながら、アンケート調査に回答していく中で、自分たちのいる地域での避難開始タイミング・避難経路・目指す避難所などについて、考えていくように設計された調査です。小学生のお子さんが「小学校の授業で風水害対策について勉強したよ、回答はこれがいい」と親御さんと積極的に会話していたり、頼もしく感じました。

門沢橋コミセン主催・海老名災害ボランティア協力による災害対策講座…を実施

門沢橋コミュニティセンター主催・海老名災害ボランティア協力による災害対策講座「風水害」が2022年8月11日(祝)門沢橋コミセンで開催されました。

当日は40～80代の男女17名が参加。災害ボランティアからは講師1名、アドバイザー3名が参加しました。講座は「みんなで考える風水害対策と避難経路」のアンケートに回答しながら疑問点はその都度、講師の方の説明、分からないことはアドバイザーに聞きながら、自宅からの避難行動計画(マイタイムライン)を確認しました。参加者からは次のような感想がありました。



- ・他人事に思っていたけど、身近なものだと改めて感じた。家族と改めて話し合いたいと思った。
- ・地域の自治会役員も参加すると防災に対し関心を持っていただけると思います。まずは私1人からでも防災について今日学んだことを伝えていきたいです。今回、門沢橋コミセンが主催して講座を開いていただき、良かったです。
- ・このような講座を開催してくださりありがとうございます。皆様と協力できるよう、また役に立てるように色々と知恵と勇気を持つことができる講座でした。ありがとうございます。参加者、一人一人が自分を災害から守る方法を知り、減災できるようになったと思います。

海老名災害ボランティアネットワーク 会員募集中!

海老名災ボラでは、次の3本の柱を軸に、様々な活動を行っています。

- ①市民の災害対応力(「自助」・「共助」)を高める活動
- ②海老名が被災地となった時に「災害救援ボランティア・コーディネーター」としての活動
- ③大規模災害が発生した場合に、被災地被災者支援のボランティア活動への参加

《会費》個人会員：年額2千円、賛助会員：年額1千円、団体会員(自治会など)：3千円
《問い合わせ》海老名災ボラ代表(石橋友晴)まで

メールアドレス：ti.226.gejimon@gmail.com、スマートフォン：090-6795-3244
申込書：海老名災ボラ・ホームページの中からコピー。提出先：海老名災ボラ代表へ